



国土交通省

中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Chugoku Regional Development Bureau

## お知らせ

記者発表資料  
配布日

平成29年7月7日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ  
広島県政記者クラブ  
中国地方建設記者クラブ

## 平成29年7月4日から5日の出水にかけての温井ダムの効果について【速報】

温井ダム流域では、平成29年7月4日から5日にかけての台風第3号及び梅雨前線による大雨により、流域平均総雨量259mmを記録しました。

このため温井ダムでは、流入量が毎秒約861m<sup>3</sup>に達し、平成14年4月の管理開始以来、最大の流入量となりました。

これを受けて、温井ダムにおいては、防災操作を行い、毎秒約494m<sup>3</sup>の水をダムに貯留しました。

その結果、下流の加計中学校付近で水位を0.8m低減する効果があったと推測されます。

### [参考]

流域内の王泊観測地点の7月月間雨量の平年値（1981～2010、30年間）は302.4mm【気象庁HPより引用】であり、今回の4日から5日にかけての30時間の流域平均総雨量はそれの約85%に相当

### <問い合わせ先>

○国土交通省 中国地方整備局 温井ダム管理所

TEL 0826-22-1501（代表）：（平日・昼間）

管理所長 たなべひろかず 田辺裕和（内線 201）

【担当】 専門官 みはらやすひろ 三原康宏（内線 330）

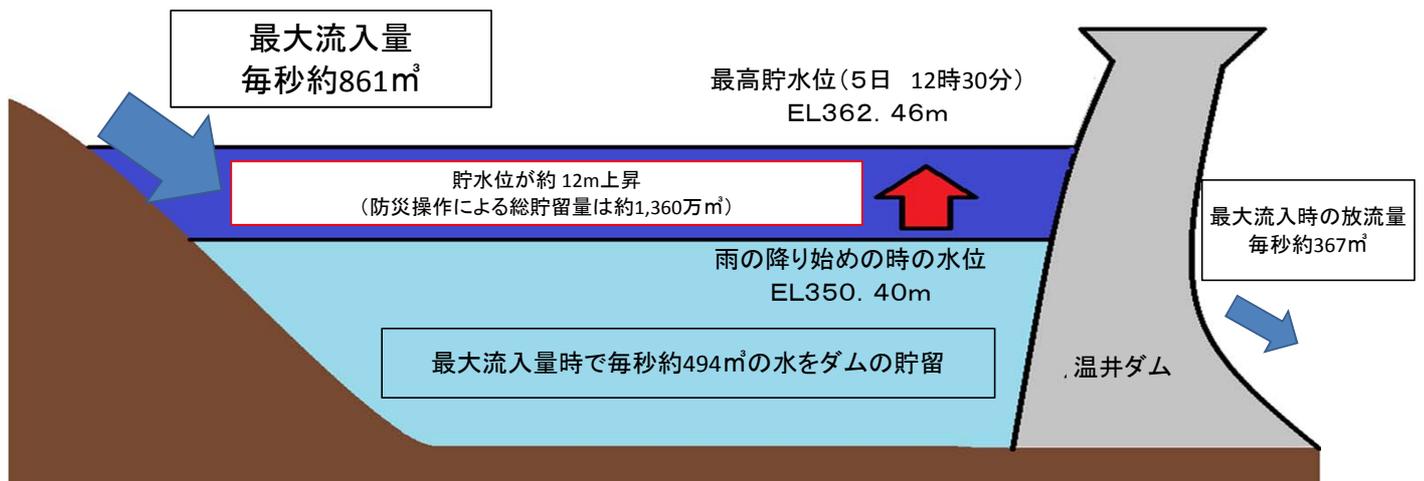
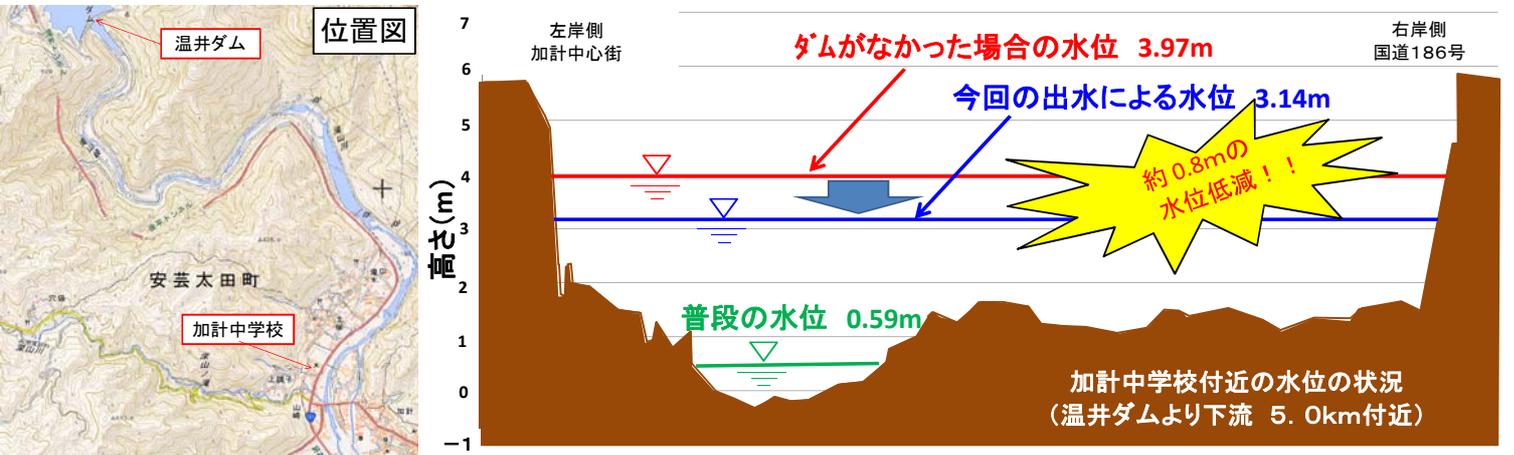
温井ダムは、太田川水系の洪水防御，広島市とその周辺地域への水道用水の供給，河川環境の保全（生態系等にとって必要な河川流量の確保），ならびに発電を目的として作られた施設です。

# 温井ダムの防災操作による治水効果 (平成29年7月4日～5日)

## ○滝山川の加計中学校付近で河川水位を約 0.8m低減

### 【状況】

- ・平成29年7月4日深夜から5日午前中の雨により、温井ダム流域では流域平均総雨量259mm。
- ・温井ダムへ**最大流入量は、毎秒約861m<sup>3</sup>(管理開始後最大値)**。そのうち**毎秒約494m<sup>3</sup>をダムに貯留**
- ・今回の雨により温井ダムが**貯めた水の量の合計は 約1,360万m<sup>3</sup>**  
(小学校にある25mプール約 37,800杯分)。 ※プールは、幅12m×深さ1.2m×長さ25m=360m<sup>3</sup>(立方メートル)で換算



※数値は速報値であり、今後変わることがあります。